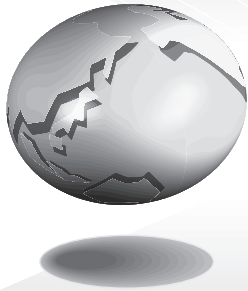


## 国際研究集会派遣報告



## 2024年度 国際研究集会派遣会員報告書

### RSNA 2024 参加報告

派遣集会：The Radiological Society of North America 2024 110th Annual Meeting (RSNA 2024)

開催場所：Chicago, USA

開催期間：December 1-5, 2024

派遣員 清水利光 湘南鎌倉総合病院

### はじめに

このたび、2024年12月1日から5日に米国イリノイ州シカゴで開催された第110回北米放射線学会(The Radiological Society of North America 2024 110th Annual Meeting: RSNA 2024)に、2024年度国際研究派遣委員として参加したのでその報告をする。

### 発表内容

私は“To reduce preoperative evaluation of living renal donors from 4 Phase to 1 Phase-Scan”と題し、世界的な課題となっている、慢性腎不全の根本治療である移植手術における、ドナーに対する造影検査の新しいプロトコルを Education Exhibits Session にて発表した。

このプロトコルでは、triple-split injection と dual energy を使用することで、従来の4相撮影を1相撮影に簡略化し、被ばく低減と miss-registration の回避を可能とした。

Triple-split injection により、尿管・動脈・静脈をそれぞれ異なるCT値で表現でき、dual energy を用いることでこれらのCT値を向上させた。また、virtual non-contrast を活用することで尿管結石の描出も可能であることを示した。

### 学会に参加して

今回のRSNA 2024は、2022年のEuropean Congress Radiology (ECR) 以来、2回目の国際学会経験だったが、その規模の大きさに圧倒された。シカゴの街全体が学会を歓迎している感じが感じられ、入国審査でも

「RSNA」でスムーズに通過できたことが印象的だった。世界中から多くの参加者が集まる中、日本からも数十名の参加者が見られた。以前から参加されている方々のご配慮により、参加者の方々とも交流を深めることができ、大変有意義な5日間を過ごすことが出来た。



Photo RSNA 2024 電子ポスター前にて

## 謝 辞

今回、国際研究集会派遣委員として助成いただきました日本放射線技術学会の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。助成金は渡航費の一部として有効に活用させていただきました。

また、研究にご協力いただきました聖マリアンナ医科大学の力石康介氏、東邦大学大森病院の鷺塚冬記氏、神奈川CT愉しむ会の皆様、並びに国際学会参加にご理解をいただきました湘南鎌倉総合病院放射線科のスタッフの皆様に深く感謝いたします。